



堺フェニックスロータリークラブ

D2640 Sakai Phoenix Rotary Club

題字：周之江

四つのテスト

～言動はこれに照らしてから～

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

地区ガバナー

三軒 久義

会長

米田 眞理子

幹事

大前 純男

会報委員長

小野 晃範

クラブ情報

〒590-0073
大阪府堺市堺区南向陽町2-2-25
ホテル第一堺TEL : 072-227-4990
FAX : 072-227-4991http://www.sakaiphoenix.com
rotary@sakaiphoenix.com例会日：毎週木曜日 18:30～
例会場：ホテル第一堺URL: <http://www.sakaiphoenix.com>E-mail: rotary@sakaiphoenix.com

第 446 回例会

通巻 446 号

平成 18 年 9 月 14 日

2006～07 年度 No.10

本日の例会(第 10 回例会) 9 月 14 日(木)

開会点鐘・LEAD THE WAY(率先しよう)唱和
ソング「堺フェニックスRCの歌」会長の時間・お客様紹介 出席報告 幹事報告
委員会報告
卓話『秋の交通安全』 堺北警察署長代理様
S A A 報告 閉会点鐘

ガバナー補佐・会長・幹事懇談会

次週の予告(第 11 回例会) 9 月 21 日(木)

開会点鐘・LEAD THE WAY(率先しよう)唱和
ソング「奉仕の理想」会長の時間・お客様紹介
卓話・ガバナー補佐奥野圭作様
出席報告 幹事報告 委員会報告
第 2 回クラブ協議会 2 階 リセス

次々週の予告(第 12 回例会) 9 月 28 日(木)

開会点鐘・LEAD THE WAY(率先しよう)唱和
ソング「日も風も星も」「海」卓話『税金あれこれ話』片木会員
(片木修税理士事務所所長)

青少年育成月間・卓話・ローテックスの方々



9 月度・会員誕生の御祝を受けられた皆様



2006～07年度国際ロータリーテーマ

率先しよう

2006～07年度国際ロータリー会長
ウィリアム・ビル・ボイド

第 4 4 6 回例会記録

[点 鐘]

[唱 和]

[ソング]

Lead the way 率先しよう

「君が代」

「我等日本のロータリアン」



会長の時間

会長 米田真理子

お客様ご紹介

堺西 RC 北正史 様
ローテックス 小西綾香様
福谷有加様 寺西紀子様
紀之定真理恵様

先週は当クラブ10周年記念事業として観光船2隻の進水式・贈呈式を無事執り行うことが出来ました。岡田10周年実行委員長始め委員会皆様にはご苦労様で御座いました。本日は先ほど第3回理事会を開催させていただきました。また7月8月9月と地区委員会が毎週開催され、9月2日には世界社会奉仕委員会 京谷地区委員長と大前幹事 またロータリー財団委員会には吉岡地区委員長、大前幹事が出席していただきました。今年度は地区委員会には100%出席を目標としていますので委員長皆様にはご苦労さまです。委員長の皆様方のご出席今後とも宜しくお願い申し上げます。

本日はローテックスの皆様方をお迎えし卓話をお願いしております。

例会後 ローテックスの皆様を囲む会を企画しておりますのでお時間の許す限りご参加戴き交流を深めていただきたいと思います。

ローテックスって何?という方もまだまだ現実にはおられます。

過日急遽デンマークからのサラさんを当クラブが受け入れた時はローテックスの方々が大阪梅田の観光案内や食事を一緒にお世話戴きました。年代が近いし語学が堪能なのでサラさんもホームシックにからなかったでしょう。この場をお借りして御礼申し上げます。本日の卓話を楽しみにしております。

9 月度各種お祝

会員誕生日 岡田正一、京谷知明、
石田得子、坂口義郎、上田俊夫会員

家族誕生日 吉川建夫様

会員記念日

創業記念日 片木 修会員
中野 清会員

委員会報告

次年度役員指名委員会報告
国際奉仕委員会

褒章

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



渡邊力夫会員

出席報告

SAA

9月7日

会員総数	31名
(内出席率計算会員)	24名
本日の出席	19名
本日の出席率	79.17%
修正出席率(8/17)	%

創立10周年を祝おう

幹事報告

大前純男

配布物

- 1 会報 no.9
- 2 9月21日クラブ協議会案内・プログラム
- 3 ガバナー公式訪問・2006-07年度活動方針並びに実施計画書
- 4 ロータリーの友 9月号
- 5 会員名簿・2冊 福井フェニックスRC・1冊

上半期会費納入者 9/7 後2時現在
(29/31名)

9月10日(日)午後2時・博物館長講座
「土居川の歴史とロマン」先着100名
10月1日(日)例会変更「内川・土居川まつり」乗船者受付の件
" S1グランプリの受験・補助者の件
指名委員会委員の推薦と承認・堺フェニックスRC細則内規第2条第1節(1)
新入会員推薦の受付

例会変更

堺フェニックスRC	9月21日(木)	例会々場 (2階・鵜橋)
	9月21日(木)	(2階・リセス)
堺RC	9月14日(木)	同日 12:30~ ガバナー公式訪問 リーガロイヤルホテル堺 3F 利休
	9月28日(木)	同日 12:30~堺西RC合同例会 リーガロイヤルホテル堺 3F 利休
堺西RC	9月14(木)	同日 ガバナー公式訪問合同例会 (堺RC,堺北RC,堺西RC) 12:30~ 於:リーガロイヤルホテル堺 3F 利休
堺東南RC	9月21日(木)	9月20日(水)18:30~ ガバナー公式訪問合同例会(堺中RC)サンパレス 3F
堺清陵RC	9月21日(木)	休会
	9月28日(木)	10月1日(日) 秋季親睦家族会 神戸市立フルーツフラワーパーク
堺中RC	9月27日(水)	9月26日(火)耽羅ロータリークラブ公式訪問

卓 話

「新世代のための月間に因んで」

地区青少年委員長・吉岡宏明会員

- ・ ロータックス:
- ・ 寺西、福谷、紀之定、小西 様
- ・

卓話者 1 紀之定 真理子さん

Guten Abent Ich heise Marie Kiosada und war eine Jahr in Deuchland. Dort habe ich viel gelernt, Darauffreue ich mich shhr. Vielen Dank, Dase sei mir so eine shoene Chance gegeben haben.

こんばんは、2004 - 2005 年度ドイツに派遣していただいた紀之定真理子です。一年間の留学生活を通じて沢山のことを学び、また現地で日本についてさまざまなことを伝えることが出来ました。

わたしはこのことを大変うれしく思っています。本当に有難うございました。

私がドイツに渡ったのは丁度 2 年前のことになります。今でもその時のことや向こうでの一年のことは鮮明に記憶しています。私が居たのは南部のバイエルン地方でミュンヘンからは電車で 30 分位のところにあるヴァイルハイムという街でした。

バイエルンはドイツでも結構独特の文化を持っている地方で方言もかなりきついので日本で



言う関西のようなところでした。カトリック色が強いせいか陽気でお祭り好きです。バイエルンで最も有名なお祭りはオクトーバーフェストというビール祭りでここには世界中から観光客が集まります。私もバイエルンの民族衣装を着てホストファミリーと一緒に行きました。

私は二つのホストファミリーにお世話になったのですがどちらにも本当の家族同然の付き合いをしてもらってとても人間関係に恵まれて素晴らしい一年を過ごすことが出来ました。然し中にはつらいこともありました。

一番大変だったのは向こうに行って一週間で盲腸炎になってしまい手術をしなければならなかったことです。行って間もない頃なので言っていることも分からなければ言いたいことも伝わらなくてすごく心細かったです。それでもがんばろうと思えたのはホストファミリーの支えがあったからです。なからず横に誰かが着いてくれて励ましてくれました。

私のことを本当に家族として受け入れてくれていたというのが伝わってきて私も安心して心を開くことが出来ました。

退院してすぐに、一ヶ月間英語学校に通った後、普通の学校に通い始めました。私は日本では高校一年に当たる十年生のクラスにはいりました。十年生まではクラスわけがあるのでクラスに友達というものを持つて嬉しかったです。学校の友達に授業やささまざまな面で助けてもらいました。

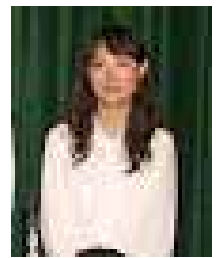
帰国する前にお別れ会を開いてくれたりして今でも連絡を取り合っています。他の留学生とも集まる機会が多かったのですが、私は英語が話せないのではなかなかじめなくてはじめは少し肩身が狭い思いもしました。仲の良い友達が出来たのは11月にROTEXが引率で行ったベルリンへの旅行の時です。それからは留学生の集まりもまったく億劫になりませんでした。そして春に行った三週間のドイツ一周旅行では他の子供ともすごく仲良くなれてあれはドイツの一年で一番良い思い出となりました。彼らともまだ連絡を取り合っていてお互いのROTEX活動について報告しあったりしてすごく刺激を受けています。

ロータリーの青少年交換プログラムの素晴らしさはやはり帰ってきてからもまだ親善大使として活動できることだと思います。そして来日学生は派遣学生のサポートをすることでその子の留學生活に少しでも携わること喜びを感じています。

これからもロータリーの皆さへの感謝の気持ちを胸に出来る限りの活動を続けたいと思います。どうかご協力お願いいたします。

今日はお呼び頂いた上に卓話まで聞いていただき有難うございました。

卓話者 2 福谷有加さん



先日は卓話の機会と皆様の支援をありがとうございます。

皆様の支援は留学生のために大切にに使わせていただきます。

今後ともROTEXをよろしくお願いします。

卓話者 3 寺西紀子さん



私は2002年から2003年に、デンマークへ派遣していただきました。気がつくともう4年も前になりました。どこへ行ってもよく聞かれることが、「なぜデンマークを選んだの?」ということです。実は、デンマークが留学先の第一希望というわけではありませんでした。ROTARYから受け取った、アプリケーションフォームにはデンマークの選択がなかったので、まさかデンマークへ行くことになるとは、私も家族も誰も考えていませんでした。

派遣先にデンマークがあると知ったのは、面接の日で、Rotaryの方に「デンマークに行けるけどどうかな?」といわれた時でした。そして、その場でデンマークへ行こうときめました。理由は、単純で、ほかの人があまり行けないところで、平和そうな国だと思ったからです。

そのときは、デンマークについてまったく知りませんでした。しかし、デンマークへ行く前にとっても素敵な話を聞き、デンマークへ行くのがとても楽しみになりました。

それは、私がデンマークへいくちょうど前にあった、ワールドカップの時の話です。デンマークのチームは、和歌山県にキャンプに来ていました。デンマークチームはイングランドなどのチームと違い、練習は全てオープンで、地域の人たちとの交流にもとても積極的だったそうです。そのデンマークチームが、キャンプ地の近くで、心臓移植の必要な少年のための募金活動を行っていることを知りました。そして、彼らは自分たちのできることを何かしたいと

考え、ワールドカップの試合できたユニフォームや、選手たちのサインをオークションに出展し、そのお金を少年の手術の為に寄付をした。という話です。

この話を聞いたとき、私は感動したとともに、デンマークへ行けることをとても誇りに思いました。

私は一度、この話をデンマークの学校の友達に話しました。しかし、誰もデンマークチームが日本でこのようなことをして来た事を知らなかったのです、すごく驚きました。きっと、デンマークの人たちは、人を助けることを特別なこととは考えず、当たり前のことだと思っているから、大きなニュースにならなかったのだと思います。そんなデンマークの人の国民性を知り、また感動しました。

私は、本当にデンマークへ留学できてよかったと思っています。ほんの1年しかすんでいませんでしたが、デンマークの家族もいるし、友達もいます。去年の夏、デンマークへ遊びに行ったときは、3つのホストファミリーの家にまたお世話になり、ホストRCのNordborg RCの例会にも招待していただきました。私はデンマークを第二の故郷だと思っています。

私の留学生活は終わりましたが、今はROTEXとして、来日生に私が感じたような感動を日本でもしてもらい、派遣生にはいろんな国でより多くの感動をえられるようにお手伝いをしていきたいと思っています。きっと、こんな風に思うようになったのは、デンマークからの影響もあると思います。デンマークという国、そしてデンマークでの経験は一生私の人生にいい影響を与え続けてくれると思います。

卓話者 4

小西綾香さん



皆さんこんばんは！

2003年～2004年にかけて富田林RCからデンマークに派遣させていただきました、小西綾香です。

ROTEXについてまず、簡単に説明いたしますと、ROTary EXchange studentsの略で、青少年交換プログラムによって1年間海外に派遣させていただいて、かえってきた人たちのあつまりです。

私たちの主な活動は来日、派遣学生たちのサ

ポートです。オリエンテーションへの協力、独自行事の企画、かれらの相談にのるなど、さまざまな面からサポートをおこなっています。

例会を月に1度おこなっており、いままでは、吉岡様に場所をお借りしたり、京谷様に場所をおかりしたりしており、皆様に大変お世話になっております。そして、今月例会から米田会長のログハウスをおかりしており、大変お世話になっております。

いつも皆様のおかげでROTEXは成り立っております。誠にありがとうございます。

私がいまROTEX活動をおこなっているのは、派遣がきまってから、ロータリアンの方々にお世話になり、大変感謝しているからというのが1番の理由です。

そんな皆様に私のできる形で恩返しをしたいと考えているからです。

さて、私の派遣期間で学んだ事を次にお話しますと、過去の派遣学生が皆言うようにお話することができないほどの経験をいたしました。大きく学んだ事は感謝の心、笑顔でいることの大切さ、自分さえ心を開けば、相手のことも理解できるということです。ロータリーのかたがたに派遣期間という、奉仕をしていただき、私にも、奉仕の心がめばえました。

このような機会をあたえてくださった皆様に今一度感謝の気持ちを伝えたいとおもいます。私の人生を大きく変えた1年をいろんな面で支えてくださりありがとうございました。

そして、今後ともROTEXをよろしく願いいいたします。

～吉岡地区青少年委員長～

ROTEXにカンパしていただいたみなさま、多額をいただきまして、本当にありがとうございました。もう感謝の言葉がみつかりません。

応援していただいているということをおすれず、自分たちの活動を精一杯頑張ろうとおもいます。これからも、よろしく願いいいたします。



